

2013年 6月12日

北海道知事

高橋 はるみ 様

北海道平和運動フォーラム

代表 江本 秀 春

代表 中村 誠 吾

在沖縄米海兵隊の矢臼別移転実弾演習の中止を求める申し入れ

貴職におかれましては、日頃より道民の生活の向上と命と安全を守るために努力されていることに敬意を表します。

さて、沖縄に駐留する米海兵隊が陸上自衛隊矢臼別演習場で行っている実弾射撃訓練において、昨日（11日）午前、155ミリ榴弾1発が本来の着弾地からそれ、演習場約500㍍外側の別海町内の国有地に着弾したことが明らかになりました。着弾痕は一般住民が使用する国道272号線からわずか700㍍の距離で、今回は大きな被害は確認されていないものの、一步間違えれば地域住民の生命にもかかわる重大事故につながりかねないものです。

「沖縄の痛みを分かち合う」ことを口実に始まった米海兵隊の実弾射撃訓練は今回で13回目となりますが、「沖縄と同質・同量」の訓練は当初から反故にされ、北海道や地元自治体も再三にわたり、夜間訓練の中止を求めてきましたが、こうした声はまったく無視され続けてきました。また、2010年には白リン弾によるとみられる野火が5件発生したほか、昨年も隊員のタバコの火で野火が発生しています。

地域住民の安全確保が第一にはかれなければならない中での今回の事故は断じて容認できるものではなく、米軍に対して強く抗議するものです。

つきましては、貴職に対して次の事項について強く要請いたします。

<要請事項>

道民の生命と安全を守るために、現在行われている在沖縄米海兵隊による矢臼別移転実弾演習を直ちに中止するよう、日米両政府に対して要請すること。

以 上